

# 特集 住み良い町・心地よいわが町

## 紹介シリーズ その1 愛知郡東郷町

### はじめに

シリーズの最初に紹介する町は、当初から東郷町に決まっていた。

その選択理由は、

- ①愛知県名の由来である【愛知郡】を現代に継承する唯一の町である。
- ②大都会に隣接する心地よい空間、緑と水を誇りとする町である。
- ③有史以来自然災害～戦乱などの災害に遭遇したことがない安全安心な町である。

など、喧騒な名古屋市の郊外にあって安らぎの空間、居心地の良い東郷町を紹介します。

### 1. 大地の様相

山あり、川あり、野原あり、地味ほどほどに、ここ東郷町はまことに調和の取れた土地柄である。尾張丘陵部と平野部の接合地帯にあり、平野に続いて起伏に富んだ丘陵地が多く、地形は比較的複雑であるが、高からず低からず、ほどよき山並みとなって断続し、小高い丘に浅い谷が入り込み小川となり、流れて沃野を形成している。幾多の小川は、耕地を潤し町の南東部めざしてゆるやかに流れ、尾張と三河の境界を流れる澄みとおる清流の境川に注ぐ。

『東郷町誌第4節冒頭文引用』

町の最高峰は、北東丘陵部の百々山112.8m。最低地は、刈谷市・豊明市との境界付近の農地で17.3m。津波高潮災害の心配がいらぬ高さである。

### 2. 人と緑と水の生活創造都市をめざす東郷町

東郷町は“人とみどりと水が主役です！”今を過ごす人々、未来に生きる人々すべてが幸せに暮らし、さらに幸せな社会を創造する意欲を持つことのできる生活創造都市をめざします。

#### 【緑】

2010新緑まばゆい5月、ゴルフの歴史で史上初の快挙18歳・12バーディーで逆転優勝！世界の耳目を集めた中日クラウンズが開催された和合カントリークラブ。この和合クラブは、豊かな緑を誇りとする東郷町の一画にあるのです。東郷町は、丘陵地形が幸いし、都市近郊であるにもかかわらず、農地開拓・土地区画整備などの開発が遅れ、緑豊かな自然が町内各所に点在しています。

#### 【水】

東郷町は、先祖代々生物の命の源である水を大切にしている町です。この地に定住した先人は、丘陵地なるが故に水には大変苦労してきました。雨乞い民話を今に伝える「知々金のつぼ」、を始めとする二十余のため池は、祖先の苦労を物語る遺産なのです。そして木曾川から導水する愛知用水の水と矢作川の水を貯える愛知池(東郷ダム)の丘に建立されている【感謝之碑】がすべてを物語っています。町が誇る愛知池は、水上スポーツのレガッタ競技場としても活躍しています。



また境川水系の14の小川と、15のため池の水辺は、多くの植物を育て昆虫や水生生物、そして野鳥が棲息する、心地よい空間を演出しています。

#### 【水と緑の市民活動】東郷町グリーンベルト活動

まちの貴重な財産である「境川」「前川」「愛知池」を中心としたエリアを「東郷町グリーンベルト」と位置づけ、自然とふれあえる魅力たっぷりの空間として保全・活用していく町民参加の活動で、草刈・清掃・施設整備が行われ、きれいな水辺が復活し、野鳥が訪れるようになりました。前川の「姫ホテル」は町民の自慢となっている。



前川の水辺空間と森の遊歩道(グリーンベルトの主役)

愛知池の水辺

#### 【よみがえった自慢の生物たち】

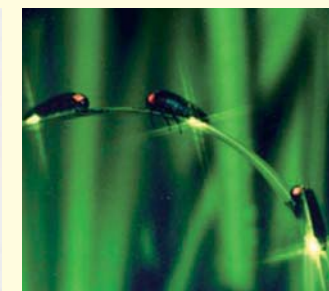
(東郷町グリーンベルト構想ホームページより転写)



ダイサギ



オナガガモ



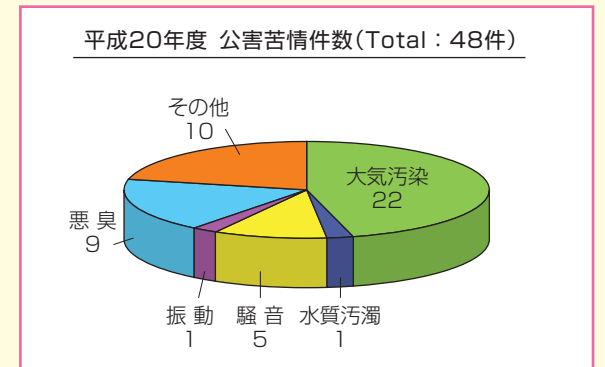
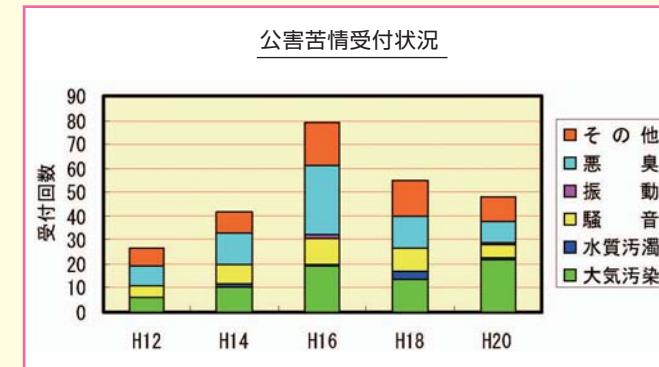
前川の姫ホテル



名古屋大学農場の山羊

#### 【住みよい町の環境】

住みよい環境は、水と緑ばかりでなく、公害も少ないのが理想です。

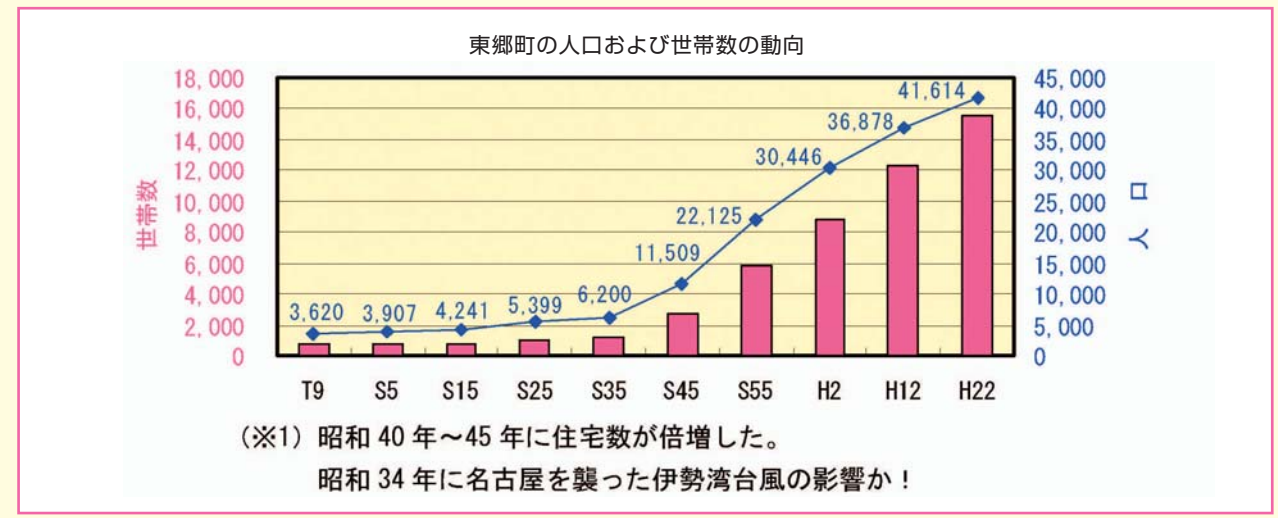


※1 東郷の統計 平成21年版：土壌汚染および地盤沈下の公害苦情は無い。

### 3. 町の生い立ち

- ①地勢：境川上流域の丘陵地帯(第三紀瀬戸層群矢田川累層)に位置する。
- ②地名の由来：愛知郡の東端、尾張国の最東部にある東の郷という意と伝えられる。
- ③史跡：古窯跡が多数みられ、また鎌倉期の祐福寺墓地の五輪塔、木造聖観音菩薩像・祐福寺一里塚などがある。
- ④東郷村の成立：明治39年愛知郡の春木村・諸和村が合併して成立。諸輪・和合・春木の3大字を編成。昭和41年和合ヶ丘が起立して4行政区となる。昭和45年町制施行し「東郷町」となる。昭和54年3行政区、同55年1行政区が起立して8行政区(諸輪・和合・傍示本・祐福寺・部田・白土・和合ヶ丘・諸輪住宅)となる。その後、行政区は増加を続け、現在16行政区に至っている。

- ⑤産 業：稲作中心で、葉煙草や綿の栽培、養蚕も盛んに行われた。諸輪・和合・白土地区の磨砂採掘は、農家の副業として昭和20年代末まで続けられた。
- ⑥愛 知 用 水：昭和36年愛知用水完成。
- ⑦基 盤 造 成：昭和39年名古屋都市計画区域に編入され、宅地造成が進んだ。昭和40・44年日進町と境界変更。昭和46年土地改良圃場整備事業完了。丘陵地帯はさらに宅地化が進み、名古屋のベッドタウンとして発展。昭和47年名古屋市緑区・豊明町・日進町、同52年三好町、同58年豊明市と一部境界変更を実施。



#### 4. 東郷町の町民憲章



わたくしたちの誓い  
わたくしたちは、恵まれた郷土をさらに住みよいまちに発展させることを願い、一人ひとりが、暮らしの中で身につけ実践してゆくためのきまりを定めます。

- 一つ 緑を愛し、住みよいまちをきずきます。
- 一つ きまりを守り、ふれあいのある明るいまちをつくりまします。
- 一つ 教養を豊かにし、文化の向上につとめます。
- 一つ 元気で働き、幸せな家庭にします。
- 一つ いのちを大切に、進んでからだをきたえます。

(昭和60年4月14日制定)



■町章  
町内公募により昭和45年7月に制定しました。とうごうの「と」を図案化し、丸い円は互いに向かい合って助け合い協力する町民の姿を象徴し、豊かな緑の中に平和と発展を願ったものです。

■町の木『モッコク』

樹は小喬木で、7月頃黄白色の花が開いたあと実を結び、熟して裂けると中から紅色の種子があらわれます。主に関東から南に自生し、庭の中心植栽に適しています。

■町の花『アヤメ』

地下に太い根茎が横たわり、細根をおろし、花は5月ごろ咲きます。ほぼ全国の山野に自生し、町内では茶苦煎池(祐福寺地区)と柵池に見られます。



モッコク アヤメ

#### 5. 神仏に守られ安心安全なわが町

##### 1) 有史以来 自然災害のないのが自慢

愛知県災害誌(名古屋地方気象台監修昭和45年3月発行)には、大宝元年8.21(701年8月21日)の暴風災害～現在に至る災害記録が収録されている。  
しかし、東郷町には、不思議と空襲・火災・地震や風水害など全ての災害は軽微にて、今日までに災害犠牲者は4人記録されているだけである。

##### 2) 神仏から守られた民話

- ①部田(へた)の身代わり薬師さま：その昔、高僧行基作の薬師像を祀る部田集落に火事が発生したが、家々の火はすべて薬師堂に吸い寄せられ、お堂と薬師さまが身代わりとなって消失した。
- ②白鳥神社の御神木：昭和34年9月26日の午後9時頃、荒れ狂う暴風雨によって諸輪の白鳥神社境内の神木(楠の大木)が根元から倒れた。町内では「御神木が町民の身代わりとなって伊勢湾台風の犠牲となってくれた」と噂した。(伊勢湾台風を語る近藤先生)
- ③日照り干ばつを救う知知釜のつぼ(タニシ)：和合の「ちちがま池」の主にも雨乞いすると、たちまち恵みの雨が降ると伝えられている。
- ④村人の信仰厚い諸輪観音：「災害が少ないのは観音様のおかげ」氏神ならぬ氏仏として信仰される観音様の民話。常楽寺和尚の枕元に観音様現れた。お告げの通り、今は愛知池の湖底に沈む。掃部山(かもぎやま)から村にお迎えし、常楽寺に観音堂を建立しお祭りしました。お堂を建築している間、お昼になると娘に化身した弁天様がお餅の差し入れをしてくれました。観音像の横に小昼餅の娘像が祀られています。(近藤翁作 諸輪の観音様と観音清水)



##### 3) 町史に見る天災地変

明治元年以降自然災害や空襲で亡くなった人数は、東郷町でも皆無でなかった。4人の方が犠牲になっていた。

- ①S5.9.28雷雨降雹農作物被害甚大。同年5月26日小学校運動場拡張工事の土砂崩壊し、6年男子小島京一埋没死亡。初めて、死者を出した。
- ②S34.9.26伊勢湾台風：未曾有の大型台風は伊勢湾台風と命名された。暴風雨は町内にも及び、倒壊家屋75戸、罹災家屋791戸、死者3人、負傷58人、床下浸水124戸の被害をもたらせた。

##### 4) 防災マップと防災対策 町の取り組み

- 【浸水危険域:浸水危険指定14箇所】  
町内のハザードマップは、平成12年の東海豪雨の時に浸水被害を受けた14箇所を浸水危険地域に指定しています。
- 【東海地震・東南海地震対策】  
防災マップに、東郷町全域を震度6弱地帯および震度5強地帯に区分け明示し、液状化の可能性が極めて高い地域、可能性が高い地域、可能性が低い地域、可能性は極めて低い地域の4区分けして明示しています。
- 【猿投活断層帯】  
町内防災マップには明示されていません。
- 【避難所】  
防災マップには、避難所27箇所、公共施設35箇所、医療機関21施設、緊急輸送路を明示。危険を予知したらどこに避難するか?東郷町は「油断大敵火の用心」「いざ鎌倉! 参拾六計逃げるが勝ち」を徹底しています。災害に逆らうよりも普段から避難先を定め避難訓練を行っています。
- 【建設コンサルタントの目で見ると防災の心得】  
自然の力に勝る構造物はないと思え! 人が構築したすべての構築物(ダム・ため池・高架橋・歩道橋・河川・ビルや家屋建築物など)の設計は、自然の力を仮定して設計されているのです。設計条件を超えた、大雨・地震・風などはすべて異常気象なのです。現代は天変地異の世紀なのです、自分の命は自分で守る心構えが大切です。君子危ない所に近づかない。大雨の時には、川に近よるな・ため池の下に近づくな。
- 【耐震補強工事の現状】  
猿投断層と想定震度図が公表されました。東郷町は東南海地震・東海地震を予想した学校などの公共施設の耐震補強工事は、平成22年度中に100%完了させる予定です。

5) 東郷町の治安と災害『平成21年東郷の統計より』

【救急車出動回数】

年度	東郷町		愛知県
	H15	H20	H20
回数	1,029	1,079	272,120
人口	37,825	40,034	7,398,327
人口/回	36.8	37.1	27.2

人口増加に伴い救急車の出動回数も増加傾向にあったが、町内防犯運動と助け合い運動が奏功し、平成20年度には、愛知県全体の県民27.2人当たり1回/年の出動に対し、東郷町は37.1人当たり1回/年の出動にとどまった。また、その内訳を愛知県全体と比較して下表に示した。

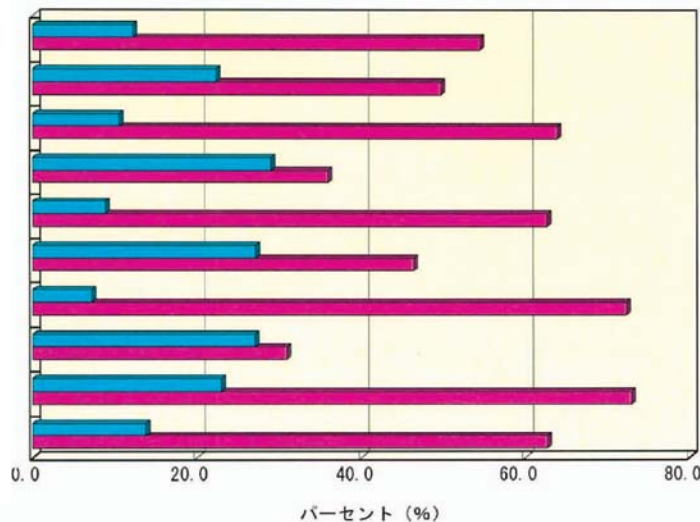
【救急車出動の内訳】

事故種別	統計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	自損行為	加害	急病	その他
東郷町	1,079	3	0	1	128	12	8	166	13	7	668	73
人口/回	37	13,345	-	40,034	313	3,336	5,004	241	3,080	5,719	60	548
愛知県	272,120	1,458	29	173	31,577	2,845	1,569	32,431	3,652	2,047	172,902	23,437
人口/回	27	5,074	255,115	42,765	234	2,600	4,715	228	2,026	3,614	43	316

6. 町民の声(『東郷町住民意向調査結果報告書 平成21年3月』)

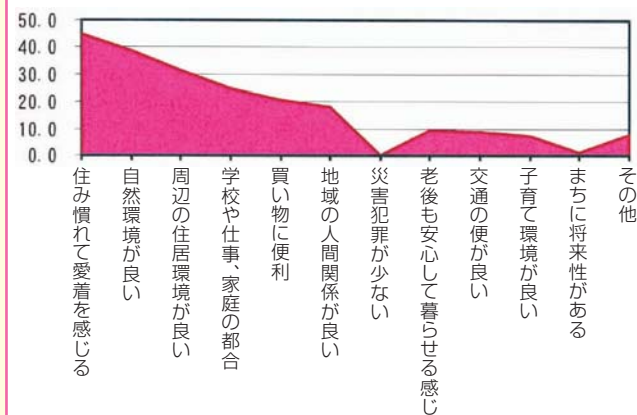
東郷町住民意向調査

1. 日々の生活に生き甲斐を感じていますか
2. 興味や教養などの活動を楽しんでいますか
3. 普段から防犯に心がけていますか
4. 地震や風水害などの災害に備えていますか
5. 普段から省エネに心がけていますか
6. 近所付き合いをしていますか
7. 普段から健康管理に気を配っていますか
8. 東郷町に魅力を感じますか
9. 東郷町で永住したいですか
10. 東郷町の住み心地はいいですか

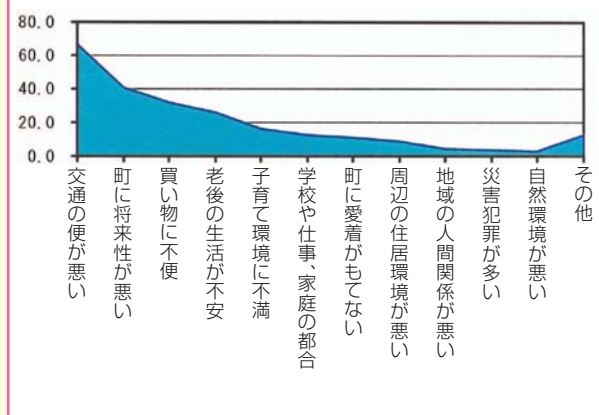


■ いいえ (NO)  
■ はい (YES)

永住したい理由は何?



転出したい理由は何?



7. 土地利用と町の概況(東郷町 統計表 平成21年度版より)

総面積 18.03km <sup>2</sup>	東西 6.34km	南北 6.36km	海拔最高112.8m 諸輪百々地内	海拔最低17.2m 春木字起内地内
市街地/宅地 516ha/416ha	小学校 6校 3km <sup>2</sup> /1校	中学校3校/高校1校 6.01km <sup>2</sup> /1校	保育園 9園 2.0km <sup>2</sup> /1園	1院/24診療/19歯 0.409km <sup>2</sup> /1施設
市街化調整区域 1,287ha	街区公園27箇所 8.84ha	近隣公園2箇所 2.0ha	緑地6箇所 25.08ha	ちびっ子広場 12箇所 0.62ha
農地 384ha	河川延長5.7km 5.7ha	ため池23箇所 120.6ha	愛知池運動公園 5.15ha	舩池親水公園 1.4ha
森林原野 0ha	町民運動広場1ヶ所 1.65ha	児童遊園8ヶ所 0.78ha	ふれあい広場1ヶ所 0.88ha	真菰池親水公園 1.2ha
道路面積 136.51ha	国道県道22.31ha 26.652km	町道114.2ha 220.8km	公民館1 図書館1	総合体育館1
人口41,201人	3~5歳 540人	小学生3,078人	中学生1,248人	保育児童1,146人
自然率 1.17%	緑地率 75.1%	地表被覆率 7.6%	ハザードエリア率 0.0%	宅地率 23.1%
一人当たり宅地面積 101m <sup>2</sup> /人	一人当たり農地面積 93.2m <sup>2</sup> /人	生活環境利便度 7.0施設/km <sup>2</sup>	生活利便度 47.7店舗/km <sup>2</sup>	製造工場度 13.4工場/km <sup>2</sup>

【住居環境指標の提案】

- ① 自然率：(山林原野 + 里山 + 河川湖沼) ÷ 地区総面積 × 100 ⇒ 生物が自生可能な面積割合
- ② 緑地率：(山林原野 + 里山 + 緑地公園 + ゴルフ場 + 農地 + その他緑地) ÷ 地区総面積 × 100 ⇒ 草木が自生できる面積率
- ③ 地表被覆率：(宅地 + 道路舗装面積) ÷ 地区総面積 × 100 ⇒ 草木が生えない面積率
- ④ ハザードエリア率：災害危険地帯面積 ÷ 市街地面積 × 100 ⇒ 市街地の災害安全度合の指標。特別な建築基準が定められているか、あるいは税率に差異が付けられているか。街区に警告水位標識が提示されているか。
- ⑤ 宅地率：宅地面積 ÷ 地区総面積 × 100 ⇒ 土地利用の指標
- ⑥ 一人当たり宅地面積：宅地面積 ÷ 地区総人口 ⇒ 高層住宅になるほど、大地に与える負荷が少ない。
- ⑦ 一人当たり農地面積：農地面積 ÷ 地区総人口 ⇒ 自給自足の可能度合いを計る。
- ⑧ 生活環境利便度：(保育園数 + 学校数 + 遊園地数 + 公園数 + 医療施設数 + 公共施設数) ÷ 地区総面積 ⇒ 1km<sup>2</sup>当りの生活環境基盤施設数で、子育て～医療など生活環境利便度を見る。
- ⑨ 生活利便度：各種サービス業商店数 ÷ 地区総面積 ⇒ 1km<sup>2</sup>当りの商店数で生活利便度を見る。
- ⑩ 製造工場度：製造工場数 ÷ 地区総面積 ⇒ 1km<sup>2</sup>当りの工場数。地区の目的別土地利用指標。

8. あとがき

人と緑と水の生活創造空間をめざす東郷町は、まさしく【調和と調整】の町です。自然との共生、近隣市町との調和、新旧町民との調和と融合、そして時世との調和を良しとする風土の町なのである。我々愛地建コン協会が目指す“すばらしい愛知圏域の未来を創造する”に見習うべき風土である。

○東郷町の気風が理解される話(教育長から聞いた話)

- ・東郷の子は、転入生に優しく親切。少しでも能力が高いと認めれば、どンドンリーダーとして認める気風がある。
- ・2年生時に転校してきた女子生徒は、「前の名古屋に比べ、何という田舎! とかなり落ち込んでいた。しかし、部活の仲間がとても親切にしてくれて、気を取り直し皆と打ち解けるようになった。」と語ってくれた。彼女は、3年生の時クラスのリーダーになった。

今回の記載内容

今回は、東郷町に紹介して戴いた刈谷市を取材します。尾張国と三河国の境界を流れる境川、その源流部の町から河口部の刈谷市にバトンが渡ります。乞うご期待!

執筆(ビジョン委員会顧問)  
磯貝 洋尚